

2026年1月8日

「第38回京都美術文化賞受賞記念展」開催について

公益財団法人 中信美術奨励基金（理事長 白波瀬 誠）では、「第38回京都美術文化賞受賞記念展」を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

- 開催趣旨** 第38回「京都美術文化賞」受賞者3名による展覧会を開催し、京都府市民をはじめ広く皆様にご覧いただきます。
- 日時** 2026年1月16日（金）～1月25日（日）
午前10時～午後6時まで（最終日は午後4時30分まで）
1月19日（月）は休館
- 内容** 第38回京都美術文化賞を受賞者された川嶋 渉氏（日本画）、赤松 玉女氏（絵画）、三代 宮永 東山氏（陶芸）の3氏の作品を展観します。特別展示「京都美術文化賞のあゆみ」では、財団コレクションより歴代京都美術文化賞受賞者（第19回～第21回受賞者9名）の作品を展示します。
- 会場** 京都文化博物館 5階展示室
京都市中京区三条高倉
- 主催等** 主催 公益財団法人 中信美術奨励基金
後援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
協力 京都中央信用金庫
- 入場料** 無 料
- その他**

テープカット	1月16日（金）	午前10時	
ギャラリートーク	1月16日（金）	午前11時30分	宮永 東山氏
		午後2時	川嶋 渉氏
		午後2時30分	赤松 玉女氏

以上

(参考)

○公益財団法人 中信美術奨励基金

京都中央信用金庫の預金量1兆円達成(1986年11月)を記念して、1987年4月1日設立。京都府下における美術の創作活動を奨励し、伝統的文化の継承発展ならびに京都府市民の精神文化向上に寄与することを目的とする。

2011年4月1日より公益財団法人へ移行。

○京都美術文化賞について

美術の創作活動を通じて、京都府市民の精神文化向上に多大の功績が認められた方に対して贈呈する。第1回は1988年。

賞金 1人300万円と賞牌を贈呈

※2025年度第38回より賞金を従来の200万円から300万円に増額

〈第38回京都美術文化賞選考委員〉

太田垣 實 氏 (美術評論家・元大阪成蹊大学芸術学部教授)

潮江 宏三 氏 (京都市立芸術大学名誉教授)

篠原 資明 氏 (京都大学名誉教授)

福永 治 氏 (京都国立近代美術館長)

冷泉 為人 氏 (公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長)

※第38回京都美術文化賞贈呈式は

2025年5月27日(火) ウェスティン都ホテル京都 葵殿にて開催

○京都美術文化賞受賞記念展

京都美術文化賞受賞の翌年に記念展を開催。

第1回から第13回までは、京都文化博物館5階展示室において開催。

第14回から第20回までは、中信御池ギャラリーの開設(2001年3月)に伴い、同ギャラリーで「オープニング展」と「受賞作家展」に分け開催。

第21回～第37回は、京都文化博物館5階展示室において開催。

京 都 美 術 文 化 賞 受 賞 者

※は故人

第1回(1988年5月)	※秋野 不矩(日本画)	※小牧 源太郎(洋画)	※坪井 明日香(陶芸)
第2回(1989年5月)	※麻田 浩(洋画)	小清水 漸(彫刻)	※伊砂 利彦(染色)
第3回(1990年5月)	※中野 弘彦(日本画)	※三尾 公三(洋画)	※藤平 伸(陶芸)
第4回(1991年5月)	竹内 浩一(日本画)	井田 彪(彫刻)	樂 吉左衛門(直入・陶芸)
第5回(1992年5月)	※吉原 英雄(版画)	※野崎 一良(彫刻)	※南 祥輝(漆芸)
第6回(1993年5月)	※中野 嘉之(日本画)	内田 晴之(彫刻)	面屋 庄甫(人形)
第7回(1994年5月)	※黒崎 彰(版画)	※鈴木 治(陶芸)	※来野 月乙(染色)
第8回(1995年5月)	※下村 良之介(日本画)	番浦 有爾(彫刻)	深見 陶冶(陶芸)
第9回(1996年5月)	※岩倉 寿(日本画)	木村 光佑(版画)	※富樫 実(彫刻)
第10回(1997年5月)	※下保 昭(日本画)	※齋藤 眞成(洋画)	※西嶋 武司(染色)
第11回(1998年5月)	※芝田 耕(洋画)	※山田 光(陶芸)	※澁谷 和子(染色)
第12回(1999年5月)	※小嶋 悠司(日本画)	林 康夫(陶芸)	※服部 峻昇(漆芸)
第13回(2000年5月)	※堂本 元次(日本画)	※井上 隆雄(写真)	※江里 佐代子(截金)
第14回(2001年5月)	※渡辺 恂三(洋画)	木代 喜司(彫刻)	福本 繁樹(染色)
第15回(2002年5月)	※岩本 和夫(日本画)	小林 陸一郎(彫刻)	※栗木 達介(陶芸)
第16回(2003年5月)	※森本 勇(洋画)	竹内 三雄(彫刻)	河田 孝郎(染色)
第17回(2004年6月)	※加藤 明子(洋画)	※木田 安彦(版画)	※林 秀行(陶芸)
第18回(2005年6月)	吉川 弘(日本画)	柳原 睦夫(陶芸)	望月 玉船(漆芸)
第19回(2006年6月)	西野 陽一(日本画)	宮瀬 富之(彫刻)	上野 真知子(ファイバ-アート)
第20回(2007年6月)	※入江 西一郎(日本画)	平岡 靖弘(洋画)	井隼 慶人(染色)
第21回(2008年6月)	木村 秀樹(版画)	秋山 陽(陶芸)	松本 ヒデオ(陶芸)
第22回(2009年6月)	※三橋 遵(染色)	八木 明(陶芸)	甲斐 扶佐義(写真)
第23回(2010年6月)	西久松 吉雄(日本画)	※野村 仁 (マルチメディア・アート)	田島 征彦(染色)
第24回(2011年6月)	山本 容子(版画)	小林 尚美(ファイバ-アート)	森村 泰昌(現代美術)
第25回(2012年5月)	川村 悦子(洋画)	福本 潮子(染色)	伊部 京子(ファイバ-アート)
第26回(2013年5月)	麻田 脩二(染色)	清水 六兵衛(陶芸)	川瀬 敏郎(花人)
第27回(2014年5月)	畠中 光享(日本画)	西野 康造(彫刻)	生田 丹代子(ガラス造形)
第28回(2015年5月)	浅野 均(日本画)	今村 源(彫刻)	久保田 繁雄(ファイバ-アート)
第29回(2016年5月)	森田 りえ子(日本画)	松井 利夫(陶芸)	ヤノベ ケンジ(現代美術)
第30回(2017年5月)	箱崎 睦昌(日本画)	山部 泰司(洋画)	やなぎ みわ(現代美術)
第31回(2018年5月)	※小名木 陽一(織)	重松 あゆみ(陶芸)	鈴鹿 芳康(写真造形)
第32回(2019年5月)	名和 晃平(彫刻)	八幡 はるみ(染)	柏原 えつとむ(現代美術)
第33回(2020年5月)	近藤 高弘(陶芸)	山本 茜(截金ガラス)	宮永 愛子(現代美術)
第34回(2021年5月)	大野 俊明(日本画)	児玉 靖枝(絵画)	高橋 匡太(現代美術)
第35回(2022年5月)	伊庭 靖子(洋画)	笹井 史恵(漆芸)	中原 浩大(現代美術)
第36回(2023年5月)	北山 善夫(絵画・彫刻)	岸 映子(陶芸)	西山 美なコ(現代美術)
第37回(2024年5月)	猪熊 佳子(日本画)	吉岡 俊直(版画)	草間 喆雄(ファイバ-アート)
第38回(2025年5月)	川嶋 涉(日本画)	赤松 玉女(洋画)	宮永 東山(陶芸)

絵画 43名(日本画21名 洋画14名 版画7名 その他1名)

彫刻 13名

工芸 40名(染織13名 陶芸19名 漆芸4名 截金1名 截金ガラス1名 人形1名 ガラス造形1名)

その他 18名(写真3名 ファイバ-アート5名 マルチメディアアート1名 花人1名 現代美術8名)

計 114名

京都

第38回
受賞記念展

受賞作家

三代

宮永東山	赤松玉女	川嶋渉
陶芸	洋画	日本画

2026.1.16.fri. – 1.25.sun.

京都文化博物館 [京都市中京区三条高倉]
(地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口
から三条通を東へ徒歩約3分)

10:00～18:00(最終日～16:30) 1月19日(月)は休館

美術

主催：公益財団法人中信美術奨励基金

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会

協力：京都中央信用金庫

【コレクション展示 京都美術文化賞受賞者作品】

第19回 — 西野陽一 宮瀬富之 上野真知子

第20回 — 入江西一郎 平岡靖弘 井隼慶人

第21回 — 木村秀樹 秋山 陽 松本ヒデオ

入場無料

ギャラリートーク

1月16日(金)

11:30～ 宮永東山

14:00～ 川嶋 渉

14:30～ 赤松玉女

文化賞